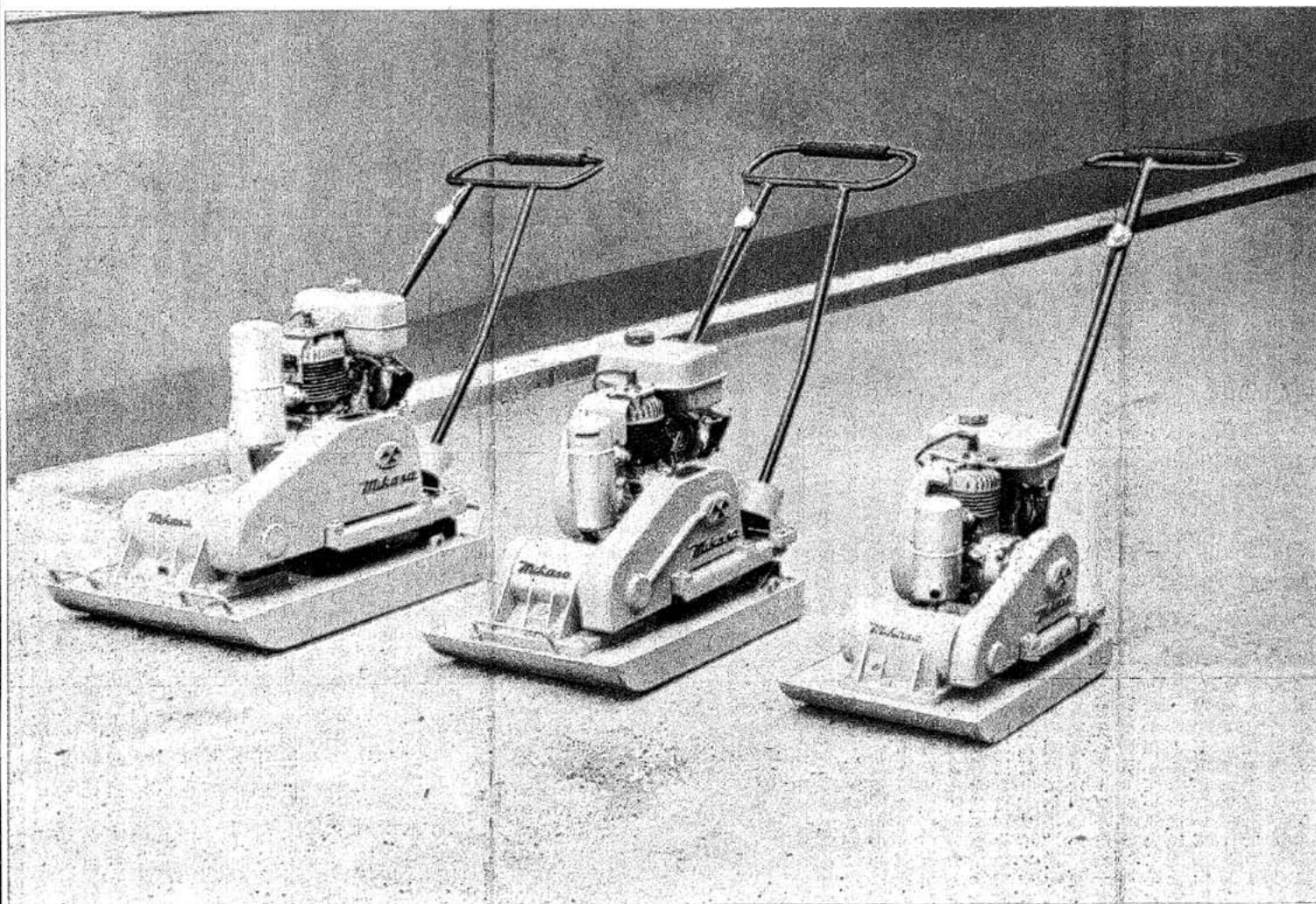


衣がえした MVC-52型 ・ 110型 三笠バイブロコンパクター



発行所

東京都千代田区猿樂町 1-4-3

三笠産業株式会社

電話 東京03(292)1411 大代表

テレックス 222-4607

郵便番号 101 番

PR旬報 年4回発行

(四十六年度新製品として発表したMVC-70型(スレット型)にモデルチェンジしたバイブロコンパクター、向って右より、52型、70型、110型)

バイブロコンパクターに就いてお願い

そろそろ暑さが近づいて、梅雨の晴間から真夏の太陽がのぞいてくるようすです。皆様にはいつもお元気で、お仕事を忙しく、何よりと後継機としてご注文が殺到し、お喜び申し上げます。毎々三笠製品を愛用下さる盛況を呈して居ります。そこで多数皆様からの要望にお応えして、向って右より、52型、70型、110型に就いてお願いいたします。

昨年弊社の技術研究所において開発した70型バイブロコンパクターは、その高レターに特殊な技術を用いた、性能、振動能力、仕上能力、そして耐久性の良さを、皆様方から多大の好評を賜り、お陰様を持ちまして、量産に次ぐ量産で、うれし悲鳴をあげておる次第です。

そこで技術部では皆様方の御要望により、MVC-70型バイブロコンパクターの設計技術を基盤として、従来より御愛用戴いておりましたMVC-110型コンパクターを110型、MVC-52型コンパクターを52型にモデルチェンジして、70型モデルに衣がえしました。

既に技術研究所の試験においては、先述の70型バイブロコンパクターに優るとも劣らない素晴らしい成績を証明して居ります。

まず52型コンパクターの概略を説明しますと、今までの50型の走行速度毎分10mに對して、これを遙かに上廻る29mにまで上げましたので、一段と作業能率がアップされました。又、安定性はもちろんのこと、オペレーターの手許へ伝わる不快な振動を極力少なくする為、ハンドルだけをシグナルにして、操縦しやすいよう吟味した軽快なものが取付けられました。更に、エンジンベースの下部には特殊な防振装置が施されてこの機械を使われる方々の身になっての安全設計がなされています。

なお原動機は、既に50型コンパクターに搭載して定評のあるEC07型をパワーアップした3.3PSの強力ロビンエンジンで、あらゆる箇所に防振対策を施し脚部も特に振動機用として設計されたものを使用しており、法面転圧として使用する



(MVC-52型の運転作業状態)

めさせていただきますから、予めご承知願います。

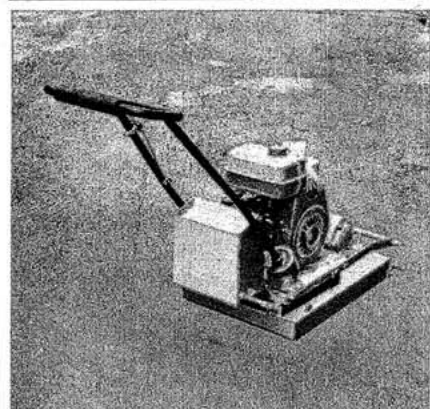
52型機の発売時期は九月中旬頃、110型機は十月中旬頃と予定致して居ります。何卒発売の時は格別ご厚意を賜りたく存じます。旧型機同様御愛用下さいますよう今よりお願い申し上げます。

営業部

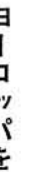
運動することが出来る。(5) 25度の登坂能力がある。(6) 25度の登坂能力がある。(7) エンジンのキャブレターにも更に改良を加えて耐振設計となったので故障がなくなった。(8) 本機で一番摩耗する振圧盤には、特殊鋼を採用して砂利転圧等でも高寿命を保つ様になってい

モデルチェンジしたバイブロコンパクター三機種の仕様は次の通り

52型仕様		70型仕様		110型仕様	
型式	MVC-52型	型式	MVC-70型	型式	MVC-110型
機体の寸法		機体の寸法		機体の寸法	
長さ	五三〇mm	長さ	六六〇mm	長さ	七三〇mm
高さ	四五五mm	高さ	五五〇mm	高さ	六七〇mm
振動盤の寸法		振動盤の寸法		振動盤の寸法	
長さ	五二〇mm	長さ	六〇〇mm	長さ	六二〇mm
巾	三七〇mm	巾	四二〇mm	巾	五二〇mm
振動数(毎分)	五、八〇〇VPM	振動数(毎分)	五、八〇〇VPM	振動数(毎分)	五、八〇〇VPM
速度(毎分)	二〇m/二五m	速度(毎分)	二〇m/二五m	速度(毎分)	二〇m/二五m
登坂能力	二五度	登坂能力	二五度	登坂能力	二五度
振圧力	四七トン	振圧力	四七トン	振圧力	六九トン
使用エンジン	ロビンEC10D4PS	使用エンジン	ロビンEC17D6PS	使用エンジン	ロビンEC17D6PS
概重量	八〇kg	概重量	一一三kg	概重量	一一三kg



(撒水用タンクを取付けた70型バイブロコンパクター)



司覲

の月曜に舞臺を飾る。この演劇は、
られたからかも知れない。
ハノーバー展が開かれる
と市内は勿論のこと、一〇
○キロ以内にあるホテルは
全部予約済になるので柴田
氏は、ハノーバーから西へ
一五〇キロ程離れた、ロー
テンフイルド市のホテルス
タウワハウスを私達のため
に用意して置いてくれた。
このホテル附近は、まこと
に閑静で、二、三日の宿泊
だけでは勿体ないような素
晴らしい環境に恵まれた保
養地である。
ハノーバー展の会場は噂



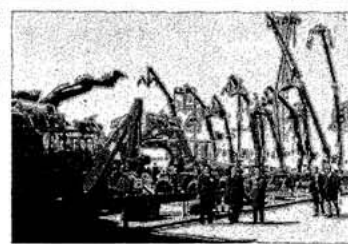
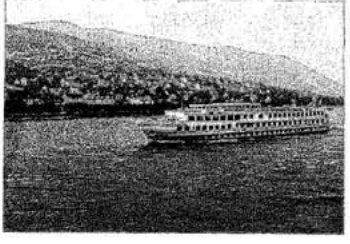
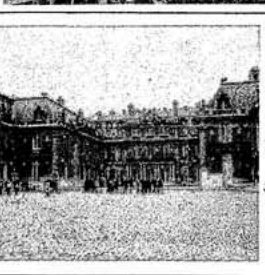
しかに大きく、陳列場も広く取ってあるので、出品機械も豊富で、羨やましい位だった。ゆっくりとこれを見て廻るには一週間を必要とするとか、もっとも東京の見本市にしても五日間ばかりかかるといふことだから当然のことだと思った。私達は自分の分野に関連したものを拾い見して来た

(ハノーバー国際見本市)
の建設機械部門



地ハンプブルグに入りT商社の大谷氏に迎えられて豪華なホテルバイアジャレスにくつろぎ、翌朝北極を廻り、コペンハーゲンを経て四月二十八日の午後三時三十分二十六日振りに無事羽田に帰り着いた。

(京谷弘道記)



五月十二日～十三日 伊豆大仁温泉にて

五月十二日～十三日 伊豆大仁温泉にて

デラー、国際見本市と次会もピークに達し時のたつたに視察され、その実情をのち忘れ、大変に和やか調査して帰国された報告のな、そして楽しい雰囲気の意味を含めて「三笠製品のうちに心ゆくまで楽しく過すことが出来た。」

翌十七日、親善ゴルフ大会に参加される方々は、早

レーターその他、MCDⅡ3型コンクリートカッター、MHCⅡ8型ハンドコンクリートカッター、MVCⅡ50型・70型及び新製品のMVCⅡ70型バイブロンポンクター及びMDRⅡ11型大

をモットーに活発な営業活動を続け、みるまにその社業を拡大させて、今日に至った同社の発展振りに驚異的なものを感じる。

これも偏りに優れた経営の札が掲げられて行った。

代理店を代表して、松本の双葉工業(株)齊藤社長よりこの鄭重なる謝辞と激励のお言葉を頂き、更に報道関係を代表して日刊建設産業新聞社の花村社長より、マスコミの立場から三笠に対する期待と激励をこめた力強いお祝いの言葉があり、次いで仙台の親和機械工業(株)安仁温泉ホテル(広間にて)

(実演説明会々場にて)



り、今後益々伸びる傾向にありと自信を深めて参りました。尚バイブレーターは電力事情の關係もあつてか、モーター内蔵式のもののみが使用されて居り、これは、わが三笠が兼ねてより主唱するバイブレーターの將來の在り方として、皆さんにも是非お考え置きたいと思つて挨拶された。約して、それぞれ戦會した。

その他の方々は、朝食を樂しみながら来年の再會を約して、それぞれ戦會した。

開期中全国の代理店の方々、特に今回は会場が大阪であるために西部地区の代理店の方々が多く来場され、熱心に見物され、新製品について色々質問されてゐた。

我が社が出品している五号館は、外国用土の、間ノ下

会場 仙台市原の町南目地内
日本建設機械化協会東北支部主催による、東北建設機械展示会が、およそ五十六社、六〇〇点の出席により開催された。東北地区に開催では、東北縦貫道及び函トンネルを含む、東北幹線、原子力発電所の建空港、港湾の整備住宅建設の推進（三笠の展示コマ全景）

手配を弁持された故小西信一社長の意志を継がれた。その信用と実績の上に立て、若々しい有能なスタッフに守られた英子夫人の社長業への執念の賜物であった。今回の「謝恩展示会」を開催されたこともこの成果を如実に表明したものである。いづく我々メーカーとしても大変喜ばしいことだと思ふ。二日間にわたった展示だいで感激した。



(ローラーの実演説明会)

土箱板国立公園の素晴らしい景色を楽しみながら、無事大仁の高台にある大仁温(ローラーの実演説明会)

と、手軽に打込み・引抜きの出来る要領をご覧に入れたので、認識を新たにされたと思われる。又80型ランマーの弟分ともいふべき、ゴーランマーを試運転される方も多く、説明員も応待に大わらわであった。新製品発表会が終ると、一息入れる間もなく



長等三笠建設機械の方に迎
えられて、播半の敷地内に
於いて、第一部の四十七年
度新製品の実演が行なわれ
た。

MDRⅡ7型セブンロー
ラー、MTRⅡ55型ゴー
ーランマーの他11型ローラ
ー、ジャンボバイルハンマ
ー、モーターインヘットパ
イプレーター、水中ポンプ
等四十六年度第二次新製品
の実演も合せて行な
った。

(播)



建設機械、小野新機より三笠産業の社員紹介、又小野常務より代理店各位、御來賓各位の御紹介があつて、引続き全般的な質疑応答が続けられた。

その後、天皇陛下も泊られたことのあるという風光明媚で広大な庭園を見下ろす離れの庭先で記念撮影をした後、大広間に於いて窪田課長司会のもとに第三部の懇親会が始められた。

小野社長の御挨拶後、代々の庭園にて記念撮影)

——鈴木報——

大阪国際見本市開く

4月18日～5月1日 (14日間)
大阪国際見本市港会場

国の政府館が多くあるため、外国人の客も多く我社の小間に足をとめて熱心に見物したり質問する姿が見られ国際色豊かであった。

我社においては、毎年国内の各地方で開催される建設機械展示会に必ず参加し出品しているが、それは専門の同業者ばかりの出品であり、又見学者も本職の建設業者の方がほとんどであるが、それに比べて今回の見本市は規模こそ比へるものにならぬ程大きいが同業者の出品はあまり見られなかつた。

近年、目ざましい展途上にある公共び民間投資とも年増大し、建設機械による機械化施行の術的進歩が重要視されている。この様な数々の事業計画の端を荷負う一環として、我々建設機械カーの展示会にむ態度も必然的に積極的で且つ新製品追求が要望されるのであり、従って

出品メーカーとも実演に日にわたり京谷社長



が来

示会場には、延べ約五百人のユーザが入場し、同社の敷地いっぱいに表示した各種の製品を興味深く参観され、熱心に係員の説明に耳を傾けて居られた。我社は展示場を一番大きく占領の、小型建設機械メーカーとしての機種の種類豊富さと、優秀性のイメージ・アップ

これらも小西機械さんの営業の方々による平素のご努力が実を結んだお蔭だと思ふと正に感謝感激である。どうか今後ともより完璧なサービスに徹せられ、社員の皆様が一丸となられて、益々発展されますようお祈りしてやみません。

札幌出張所 永山記

石井商事(株) 創立

十周年記念展示会

泉ホテルに到着され、旅装もとらず、第一部の新製品発表会の特設実演場にご案内して、熱心に新製品の御見学をされた。本年度の新製品である「MDRⅡ7型セブンローラー」「MTRⅡ55型ローラー」及び「MOHⅡ24型ジャンボパイルハンマー」等が並べられ、逐次セブンローラーより、試運転、説明が行なわれた。特にセブンローラーには油圧式トランスミッションの採用による素晴らしい走行性能と軽い操作性等、数々の新機構を取り（パイルハンマーの実演）

皆様を、第二部の三笠代理店懇談会の会場であるホテル内会議室ご案内した。ここでは御休憩の後、星野部長の下に懇談会が開会された。

先ず京谷社長の挨拶で、より次いで京谷専務が販部門に対して、また吉田専務が技術部門に対して更小林、長谷川工場長が産部門に対して活発な質疑応答が行なわれた。特に田常務の新製品に対する面説明の際には、セブンローラーに対する御質問が多く、発売時期を一カ月で早くしてくる様という

藤常務の音頭により一同乾杯して懇親会の幕を開けた。ほどなく伊豆の美妓連のサービスで座はすっきりくだけ、いつしか夜の更けるのも忘れて、お国自慢の歌を唄う人、飲む人、踊る人と和気あいあいのうちに楽しい一夜を過した。翌朝はあいにくの雨模様で天気であったが、小雨にもかかわらず、早目に起きられて、雨に緑が美しい山頂のホテルの庭を散歩される方々も多かった。

終りにのぞみご出席代理店各位の益々のご隆昌を心から祈る。新虎せざるをえないように、

おれたちの「さくら」は、各代理店の方々は早速ご自分で手にとり、その性能ぶりを確かめられて居られた。一通りの実演を終った頃、吉田常務より製品を前にして具体的な構造及び性能、特徴等の説明が行なわれた。

やはり、走行速度が無段変速に出来、油圧式で自動的にブレーキのかかる小型なセブンローラーが注目され、早期生産の御要望が多く、最後の予定より早目に

大阪

期所
会場

つた。
それ故今回の出品の意義は具体的営業活動というよりも、世界各国の会社と共に一堂に会し、「日本に三笠あり」という事を世界に認識せしめるに、大いに有意義であったと感じた。

やがてこの見本市の成果（見本市会場の三笠展示コマ）

大阪国際見本市委員会主催によるインター・エンジニヤリング'72が四月十八日より開幕された。

当日会場の三号館ホールで、主催側関係者、各界の招待客、外国領事等一千人余りが参加し、見本市委員会々長の開会宣言によって、向う十四日間の幕が切って落とされた。

今回の参加は十八

た。この意味に於いて初日を通じ、夏をおもてなす。また、この機会に、より各デラー、ユーザーの発展を約束する。今後、北地方の発展を約束する感じがした。いずれも、この展示会を成功裡に、了せられたのも偏へない。デラーさんの御礼申し上げる次第です。

徳永

常時時代の先端をゆく経営で事業を積極的に発展させ、今日の確固たる地盤を築き上げた石井商事（山形市蔵王成沢二一八の一・石井淳三社長）では、本年で創立満十周年を迎えたので、四月十四日に板垣山形県副知事、山内参議院議員、金沢山形市長等をはじめ、取引先の土木業者、協力機械メーカー、地元関係者二〇〇名を市内ホテルオリーヌマに招待して、盛大な記念式典が行なわれた。石井社長（昭和三十一年二月創立して今日満十周年の記念祝賀会の出来る事は御

常時時代の先端をゆく経営で事業を積極的に発展させ、今日の確固たる地盤を築き上げた石井商事（山形市蔵王成沢二一八の一・石井淳三社長）では、本年で創立満十周年を迎えたので、四月十四日に板垣山形県副知事、山内参議院議員、金沢山形市長等をはじめ、取引先の土木業者、協力機械メーカー、地元関係者二〇〇名を市内ホテルオリーヌマに招待して、盛大な記念式典が行なわれた。石井社長（昭和三十一年二月創立して今日満十周年の記念祝賀会の出来る事は御

しこむ会場内で、テーブルせましと並べられた山海の珍味と愛嬌あふれる山形美人のホステス振りに参会者一同すっかり打ちとけて和気あいあい裡に午後四時散会となった当社からは星野営業部長が出席して、東北新幹線、東北高速道路と大工事の伸展が予想される同地方にあつて、今後益々盛大に御発展されることを御祈り申し上げた。

（星野記）

（拶繰される石井社長）

有難い御要望が代理店の
々の一致した所であった

16回

三代会

西部地区

からお祈り申し上げます。
筭原記

引続き休む間も無く、第二部の懇談会が播半の大広間に於いて岡田九州出張所長の司会のもとに行なわれた。三笠建設機械の小野社長から挨拶と日頃のお礼を言及し、

本村社長の謝辞があり、来賓として三菱銀行大阪西支店渋谷支店長の祝辞、報道関係の代表として、辰巳商工経済新聞社社長の御挨拶に次いで、森長機械販売(株)社長長の音頭で乾杯し懇親の省力、物流機器等も多く、直接又は間接的に色々

（謝恩場と小）
え、それを記念して三十日より二十一日の二同社整地内において同
扱い全商
「謝恩」
会を開
た。
道央の

月二列席ボーザーの御支
日間援とメーカーの御協
社取力の賜物と併せて社
品の員の努力の結晶と、
展示この席をお借りして
有難く深謝致します
す」と挨拶され、次
中心いで従業員表彰が行

五月十六日、昭和四十七年度西部地三笠代理店会が、西ノ宮「播半」に於いて開催さ

日 西ノ宮「はり半」にて
 第一日の十六日は、五月
 晴の空の下、大阪駅前「ホ
 地を約一カ月間ニューザー、
 更に数日前ヨーロッパ各
 深甚なる謝意を表せられ、
 長より平素の御支援に対し

会の幕は切って落された。	出品されていた。	の形となって表われて来る
美しい美妓達の踊りに歪	我社においては、主力製	日を信じてやまない。
を傾けたの、各代理店の	号館に小間を設け、120	管野記
方々の、どの自慢やかくし	品であるMTRⅡ80型、120	×
芸を、願ひする頃には宴	型のランマ十、各種パイプ	×
		×
		×
		×

地、旭川
拠点とし
この僅か
間に信用
壁なす！

市をなわれ、引き続き、祝辞がつぎつぎと述べられ、祝賀パーティーにはいり、初夏を思わせる陽光のさ

会 期 4月18日～5月1日 (14日間)
場 所 大阪国際見本市港会場

会 期 4月18日～5月1日 (14日間)
場 所 大阪国際見本市港会場

られ国際色豊かであった。

我社においては、毎年国内の各地方で開催される建設機械展示会に必ず参加し出品しているが、それは専門の同業者ばかりの出品であり、又見学者も本職の建設業者の方がほとんどであるが、それに比べて今回の見本市は規模こそ比べものにならぬ程大きいが同業者の出品はあまり見られなかった。

それ故今回の出品の意義は具体的営業活動というより

る機械化施行の技術的進歩が重要視されている。この様な数々の事業計画の一端を荷負う一環として、我々建設機械メーカーの展示会にむく態度も必然的に極めて且つ新製品の追求が要望されるのであり、従って

出品メーカーとも実演に日々にわたり京谷社長は、場内を一巡された。場内を通じ、夏をおもむき晴天に恵まれ、今後



常に時代の先端をゆく経
営で事業を積極的に発展さ
せましと並べられた山海の
珍味と愛嬌あふれる山形美

石井商事(株) 創立
十周年記念展示会

と、優秀性のイメージ・ア
と、札幌出張所 永山記

記念謝恩展示会

記念謝恩展示会

記念式典が行なわれた。石

(星野記)



(謝恩展示会会)

（場と小西社長）
（小西機務）旭川市
通り二十四丁目）にお
しては創業満十周年、
え、それを記念して三
十日より二十一日の二
同社整地内において同

宮下 七年月創立して今
きま 日満十周年の記念
を迎 賀会の出来る事は御
月二 列席ユザーの御支
日間 援とメーカーの御協
取力 易物と并せて

扱ひ全商
一謝恩
会を開
た。

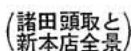
道央の

品の、努力の結晶と、この席をお借りして有難く深謝致します」と挨拶され、次いで従業員表彰が行

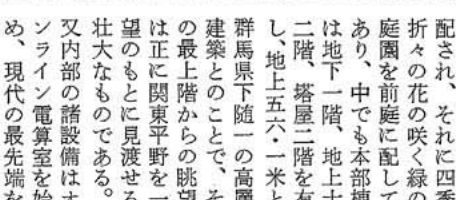
地、旭川
拠点とし
この僅か
間に信用
壁なす！

市をなわれ、引き続き、祝辞がつぎつぎと述べられ、祝賀パーティーにはいり、初夏を思わせる陽光のさ

落成さる



披露が取り行なわれた。完成された建物の概面は、約一万五千平方メートルの敷地に本部棟、営業棟、電算棟と三棟のビルがT字形に



市中と空港を結ぶ幹線泊に建てられたこの新ビルは小野常務、岡田所長が御祝詞に参上された。又三笠建機より

の屋上に登れば、四方をさし照らす中道内でも優秀な地方営業所として松田部長を中心とし一系乱れない固い結束が今日の實を結んで、この立派なビルの完成を見るに至ったものでその努力に対し深く敬意を表すると共にここに心から御祝詞申し上げる次第である。今後は三等協力の御販売にも一段と御協力下さるとの事であり、我々としても大いにご期待申し上げると共に出来る限りのご支援を惜しまないものである。

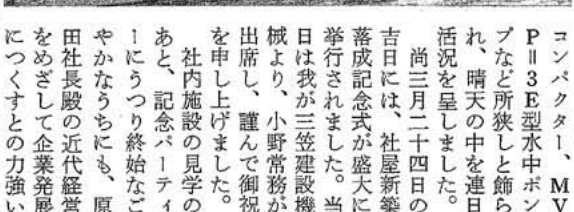
無筆ながら中道機械九州本部皆様方の今後の御活躍と御発展を心よりお祈り申し上げます。お祝いの言葉にかえさせて頂きます。

九州出張所 岡田記

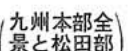
下町である松江市、名橋松江大橋を望む実道湖のほとりに古くは各種金物の総合販売店として名声の高い原田金物さんでは、飛躍的な最近の御発展に鑑み従来11型ダブルローラー、新製の店舗が手狭の店、MVC1170型、バイプロ

新社屋は、敷地三、六二坪、建物面積一、七六五坪というほんとうに立派なものでございます。

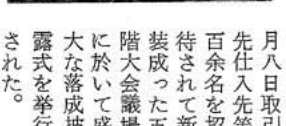
さる三月三日、四日と両日御当地祭と、ときを同じくして、新社屋の落成を記念し併せて、建設機械展示会が挙行了されました。各メーカーから展示された建設機械の中で、三笠MDR112B型カッター



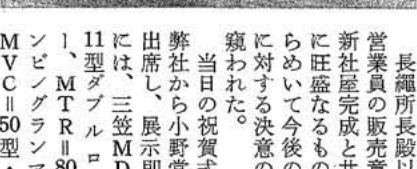
九州本部落成



中道機械産業(本社東京)ではかねてより福岡市博多区美野島三丁目十六街区二十二番地に九州本部ビルを建設中とのこと、この工程完成されたので、去る四



新宮業所落成



以下全
意欲は
共に更
のがひ
の躍進
の程が

急がれていた、和歌山営業所では四月二十八日移転を完了され、引続き落成記念祝賀式及び建設機械展示即売会が盛大に催された。

同営業所は港に近い国道四十二号線沿いで、東に和歌山城が望まれ、誠に風光明媚な所である。今後の発展途上にある和歌山の中心地に広大な敷地を擁して、業界随一の立派な容姿を整えられたことはまことに喜ばしい限りである。

種バイブレーター等が展示され、出品機械の半数以上が即売される盛況振りで地元大手業者を始め多数の方が熱心に参観され、質問され又自から試運転されるなどして、仲々の賑わいを呈した。

なお当日は日暮れまで御来店の方が後を絶たなかったが、これも偏々に日頃の営業員皆様の御努力と信頼賜物の他に他ならないと思つた。

三笠建機 日高記



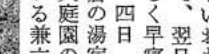
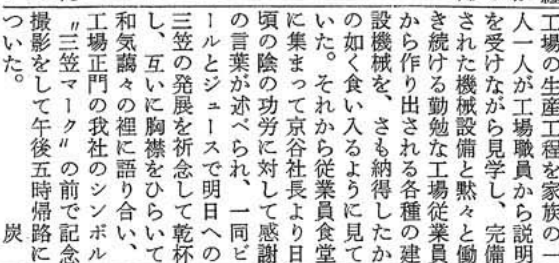
能登半島
北陸を尋ねて



り、寺内の宝物を見物したりして、やがて館林工場へ入り、直ちに我社のメイン



前でカメラにおさまった



一の温泉でゆつくりと旅の疲れをいやす人など、皆おもしろいおもいの行動をとって、翌日を楽しみにおとなしく早寝した。

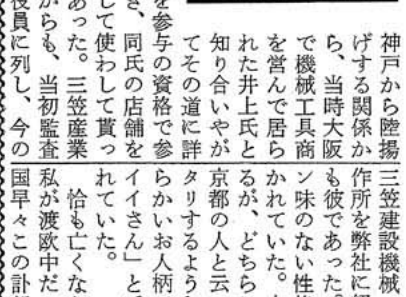
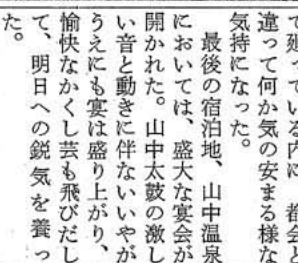
四日（日）私達一行は和倉の湯宿を後にして日本三大庭園の一つにあげられてる兼六園へと向った。



中とどこでも鮮光地によく見られる土産物屋風景が、このも期待に反して存在している。しかし一步寺の中に入ると、様子はがらりと変って、敵しい修業に毎日を送っているという修業僧の姿が印象的であった。

案内の修業僧と一緒に廻って廻っている内に、都会と違つて何か気の安まる様な気が持になった。

最後の宿泊地、山中温泉において、盛大な宴会が開かれた。山中太鼓の激しい音と動きに伴ないやがうえにも宴は盛り上がり、愉快なかくし芸も飛びだして、明日への鋭気を養つた。



少々早い年輩であり、惜しい人を失ったものである。葬儀はオノマシンと三笠建設機械の両社長である小野選三氏が葬儀委員長となって盛大に執行された。当社よりは京谷専務が列席して親しく、みち子未亡人にお悔まを申し上げた。ここに紙上をかりて氏の冥福を祈ってやまない。

(京谷社長)

神奈川県三浦市南下
菊名一六二五徳田
電〇四六八(81)一四

所 開設
神奈川県三浦市南下
菊名一六二―五徳田
電〇四六八(81)一四
一 物
木造二階建一棟八帖
六帖一間他浴室、台
間
自 七月一日(土)
至 八月三十一日(木)
通機関
京浜急行三浦海岸駅
ご利用された方は総
お問い合せ下さい。

浦町 徳内 七四 二間 所付 下車 (総務)

次号俳句募集

当季雑詠	1人5句以内
用紙	ハガキ又は便箋縦書
締切	9月25日

社外からの投稿歓迎
郵便物には落款を必ず

選後吟
の山温泉にて
鶯に蔵王ひねもす雨
くらんば小さき籠の
王から磐梯かけて虹

横浜^ニ加藤^ノ京^ノポテン^ノの花の命^ヲ明^ス退治^ノの神楽^ヲおもしろ葉

帯^ハ広^ク高^ク島^スす
の中^ニの一^ツ樹^ノ色^ハ濃^クし^テ花^ハ
ち^ハて^ハい^ル色^ハ美^シき^種種^々
横^ハ浜^ニ加^ヘ藤^ノ京^ノ
玉^ノの^庭庭^ニの^梅梅^ノも^ぎき

評^ハ僅^ニか^ニ二^ツか^ニ三^ツツ

横浜 神吉 柳
変化遂に地をなめ今や
雨深し主なき部屋の
松江 原田 碧
緑のうち重なりて豪
群の日に萌えわけられ

三笠産業俳句
穂波選
横浜 村松み
原の小家晴るるか百